

# あいさつ運動の好事例

岡山県立岡山支援学校

(児童生徒数 140人 教職員数 118人)

「おはよう」で始まる友達の輪  
～自主的な活動を通して、校内に笑顔を広げよう～

## アピールポイント

- 週2日、児童生徒用玄関周辺を中心に中学部・高等部の委員会・生徒会の生徒が自主的にあいさつ運動を行っています。
- 生徒会・委員会の生徒がたすきを作ったり旗を持ったりしてアピールし、あいさつの啓発に努めています。
- 学部を越え、連携して取り組んでいます。

## 実際の様子



## 取組の概要

### ■児童生徒の実態

小学部・中学部・高等部があり、小学部1年生から高等部3年生まで幅広い年齢層の児童生徒が在籍しています。

### ■活動内容

中学部では、生活・美化委員会の生徒を中心に週2回、玄関前であいさつ運動を行っています。生徒たちは、委員会の時間に作成した、たすきやのぼり旗などのあいさつグッズを持ち、友達に、「おはようございます。」と気持ちのよいあいさつをしています。校内にあいさつの輪が広がっていくことを願いながら活動を行っています。

高等部では3年前から生徒会執行部の呼びかけであいさつ運動が始まりました。現在、各クラス代表を含む7～8名の生徒を中心とし、週2日あいさつ運動を行っています。

昨年度までは学部ごとに活動していましたが、生徒から学校全体で取り組みたいという提案があり、現在は学部を越え、連携して活動しています。

### ■取り組みの参加メンバー

生徒、教職員

### ■成果

はじめはあいさつすることを恥ずかしがっていた児童生徒も、生徒会・委員会の生徒に「おはようございます。」と声をかけられると、自然に笑顔がこぼれ、気持ちのよいあいさつを交わし合う光景が見られるようになりました。また、あいさつ運動を行っている生徒同士も、同じ目標を掲げ取り組む中で連帯感が生まれてきています。

あいさつは良好な人間関係の基礎。こうした取組を通して、他者貢献・自己効力感を高めていきたいと考えています。